

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	世界史A	2	高校1年全クラス

使用教科書	副教材
世界史A (東京書籍)	第一学習社 グローバルワイド最新世界史図表 初訂版

1. 学習の目標

近現代の世界の歴史の大きな枠組みと流れを、わが国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特徴を広い視野から考察させることによって歴史的思考力を培い、国際社会に貢献できる日本人としての自覚と資質を養う。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
世界の様々な地域の文化や習慣を理解し、世界における日本人の地位に相応しい国際感覚を学ぶ。	各国の歴史が、世界の様々な地域に影響を与え、遠く、アジア・日本とも繋がっていることを多角的に考察する。	写真図版や歴史地図を通して現在に残る世界遺産や、失われた過去の遺産を学び、今日の社会に残る文化の起源を実際の資料から理解する。	世界の歴史を理解する上で必要な知識を身につけ、その関連性を理解する。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	第3章 大西洋世界の変容とその波及	・17～18世紀のヨーロッパ諸国の活発な経済活動と植民地争奪戦争を重商主義と関連付けて考察し、資本主義体制の確立と社会の変容について理解を深める。	授業態度・課題、定期試験等を総合的に評価する。
	5		・アメリカ独立革命とフランス革命が経済的・思想的に影響しあっており、「独立宣言」や「人権宣言」が近代市民社会の形成に重要な役割を負っていたことを認識させる。	
	6	第4章 産業化社会の拡大と成熟	・ナポレオンの出現により各国のナショナリズムが台頭したことが、後のウィーン体制における保守的な体制が生まれる背景となった点を理解させる。 ・産業革命の背景と影響について、世界経済的視野から考察させる。また、新たに発生した諸問題にも注目させる。 ・旧体制下における封建的な国家観が崩壊し、今日の国民国家が形成されたことを理解させる。	
2	7		・国民国家の形成が、ヨーロッパ諸国の新しい勢力図を形成したことを理解させる。	授業態度・課題、定期試験等を総合的に評価する。
	9	第5章 アジア諸国の変貌と日本	・欧米のアジア進出が、以後の同地域の植民地状態を形成した事、日本の近代化が周辺アジア各国に与えた影響を理解させる。	
	10		・欧米諸国のアジア進出が、以後の同地域の植民地状態を形成したことと、日本の近代化が周辺のアジア各国に与えた影響を理解させる。	
3	11	第6章 帝国と民族の時代	・欧米列強による世界秩序形成の様相について理解させる。	授業態度・課題、定期試験等を総合的に評価する。
	12		・19世紀以降のヨーロッパ各国の帝国主義的植民地政策が、弱体化したオスマン帝国支配下のバルカン半島で衝突する背景を理解させる。	
	1	第7章 二つの世界大戦の時代	・第一次世界大戦の状況を学ぶことで、戦争が多方面に与える影響を理解させ、またロシア革命の世界史的意義や、ヴェルサイユ・ワシントン両体制における国際協調の成果と限界について考察させる。	
	2		・緒戦における枢軸国軍の勢力拡大と占領地における抵抗、連合国軍による反撃と終戦にいたる経緯について理解させる。	
	3	第8章 冷戦と民族独立の時代	・第二次大戦後の東西冷戦の構造と、現代の多極化時代にいたる経緯を理解させ、核の脅威と平和の意義について考察させる。	

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。